

三原市関係人口創出事業全体概要

1 背景・目的

人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足が大きな課題となっている。一方、企業の働き方改革や新型コロナを契機に個人や企業の地方への意識は高まっている。こうした中、都市部に住みながらも地域に多様な形で関わる関係人口づくりを推進し、地域活動や課題解決における担い手の確保、新たな視点や刺激による地域の変化を促すものとする。

また、継続的なつながりが深化することで、将来的には関係人口の一部が移住へとシフトしていく事も期待するものである。

2 事業内容

(1) 概要

都市地域の個人や企業人材を本市の関係人口へとつなげていくため、受入の垣根となる移動手段、滞在拠点、仕事、参加を一元的にコーディネート可能な仕組みを整備する。

また、WEBやリアルでのセミナーやスタディーツアー開催を通じ、都市住民と本市をつなぐきっかけづくりを図っていく。

区分	提供するサポート案
移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ■定額利用など安くて便利な交通 ■各種地域交通の連携サービス (MaaS)
滞在拠点	<ul style="list-style-type: none"> ■定額住み放題サービスの提供 ■既存宿泊施設による受入サービス (連泊/ワーケーションプラン等)
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ■地元企業が求める専門スキルとのマッチング ■農繁期の農家とのマッチング
参加	<ul style="list-style-type: none"> ■地域のキーマンやコミュニティの紹介、参加支援

(2) 事業運営体制

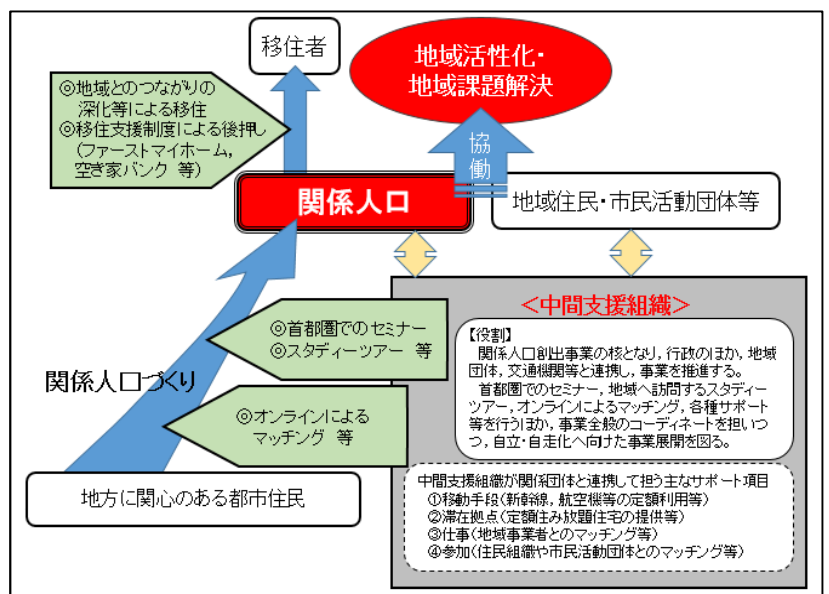
市内に所在するNPO法人等を事業全般のコーディネートを担当する中間支援組織として置き、この中間支援組織を核に地域団体、交通事業者、行政等が連携する体制を構築する。

また、3か年を目途に、自立・自走型の事業展開を確立していくことを目指す。

3 事業スケジュール

3か年の事業目標を次のとおりとする。

- 1年目：基盤づくり（戦略整理、運営体制の構築、受入準備等）
- 2年目：事業の実践、効果的な事業内容及び運営体制等の確立
- 3年目：事業運営の自立・自走化準備（関係人口の案内機能と効果的な推進体制を構築するための基盤整備）



<目指す関係人口創出の全体事業イメージ>